

学校ごっこをしよう！

東広島市立御菌宇幼稚園（広島県東広島市）

[5歳児・5年生]

<「みそのうトライアングル※ 第2回交流会」に向けて>

12月に5年生から「学校ごっこ」の招待状が届いた。5歳児に招待状を見せると、「また、会えるんだね」「保育所の友達、私たちのこと、覚えているかな」「楽しみだね」という期待の声が聞かれた。そして、「前より大きな声で挨拶をしよう！」「前よりもっと話を聞くのが上手になったところを見せたいな」など、なりたい自分へのイメージも膨らんできていた。

※ 「みそのうトライアングル」とは…

幼児教育と学校教育の接続の重要性を踏まえて、同地域の保育所、小学校と共に道徳性の芽生え、育成に視点を宛てた研究を進めている。

<交流の概要 ～幼稚園・保育所の5歳児がグループになり小学校で模擬授業を体験>

5年生が先生役・幼児が児童役になる。小先生である5年生の話を聞いて、自分の思いを表現したり、一緒に活動したりする中で、「楽しいな」「自分もしてみたいな」「どうしてかな」「もっと知りたい」という知的好奇心を膨らませていく。

国語～

「みそのうカルタをしよう」
読み札を聞くと、手は頭の上だよ！



算数～「オセロをしよう！」
僕は何個、とれるかな？



体育～「ポウリング やっほー！」
ピンをねらって、ねらって！



生活～「楽しくおそうじをしよう！」
先生、拭き方はこれでいいですか？

5年生の感想文より～幼稚園や保育所の子がルールを守ったり、実験を静かに見てくれたりしたおかげで、すごい勇気をもって授業をすることができました。1回目の授業の時は時間が少し余ったので、2回目には空気鉄砲を持ってきました。「シーン」とする時間はなく、楽しく笑顔で帰ってもらうことができました。

幼稚園児の感想より～「下敷きで頭をこすったら、静電気で髪の毛が立つのが面白かったです。でも、僕の髪だけ立たなかったのは、僕の髪の毛が短いからだと思いました」「5年生が優しく教えてくれたり、頭をヨシヨシしてくれたりして嬉しかったです」

<科学する心の育成とのつながり>

各教科学習の内容に含まれるような活動を体験することにより、子どもたちは日常生活を新鮮な思いで見直すことができた。

- ・カルタも初めてのルールだよ。 → みんなと楽しくできる。
- ・的を狙ってボールを転がすって難しい。 → 力は両手同じように。
- ・雑巾はどう絞ったらいいんだろう。 → 端を持って捻るんだ。

みどころ

小学校との交流を意図的、計画的に実施することで、前と違う成長した自分を見て欲しいという、自信や自己肯定感なども生まれています。また、継続によって、子どもたちの心の中にも小学校に対する期待や見通しがもてるようになると思われます。「学校ごっこ」の体験を通して技能的な体験だけでなく、身近な人への信頼感や親しみの気持ちをもったり、こんな風になりたいという憧れの姿に注目したりすることで「科学する心」が広がり、新たな世界へのイメージを膨らませていくことが期待できます。